

セイノーHD、日本初・物流領域専門ファンドに出資

Edited By LogisticsToday On 2020/01/27

セイノーホールディングスは27日、物流周辺領域のスタートアップ企業へ投資を行う日本初の専門ファンド「ロジスティクスイノベーションファンド」をスパイラルキャピタル(東京都港区)と設立し、アンカーリミテッドパートナーとして同ファンドに出資したことを発表した。

同ファンドは、(1)物流周辺領域における新たなプラットフォーム(2)既存物流業務のプロセス改善(3)荷主層の拡大——を投資テーマに設定しており、これに寄与するスタートアップ企業に対し、1.5億円～2.5億円の投資を行う。

ファンドの規模は70億円～100億円を想定。今後は金融機関を中心とする外部パートナー企業に対して出資を募るといふ。

今回のファンド設立に関してセイノーホールディングスは、「投資先スタートアップ企業とより強固な関係を持ち、互いの事業拡大に向け、共創を図っていく」とコメントしている。



▲(左)スパイラルキャピタルの奥野社長(中)セイノーHDの山田社長(右)スパイラルイノベーションパートナーズLLPの岡代表(出所:セイノーHD)

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/364743>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.